

科目名	メディアとアート
科目名(英訳)	Media and Art
科目ナンバー	HM130C01
担当者 (非)は非常勤講師	河村 陽介
単位数	2
開講学年	1年
開講セメスター	春期毎週
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 河村 陽介: 木5-6
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	学科専門教育科目の中のメディア情報社会基盤科目のうちの理論応用科目として位置づけられる。理論応用科目は、基礎的理論を踏まえて、メディアと情報の関係、メディアと社会の関係を扱う応用的科目群である。本講義はさまざまなメディアアート分析のための理論的フレームを学ぶ科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ③:○ ④:◎
身につく基礎力 / 身につく汎用力	／ 自立心 国際的な視野 多様性

授業の主旨 (概要)	本講義では、美術表現におけるメディア(媒体ないしは素材技法)に注目し、その特質、および表現における影響力について観察、分析する。「伝達」「表出」といった目的に応じての使用だけでなく、メディア(媒体ないしは素材技法)そのものの特質が、「伝達」「表出」の内容やかたちに影響を及ぼすことを学修していく。	
具体的 達成目標	絵画や写真、映像、コンピュータグラフィクスなど時代とともに変容するメディアと表現についての基本的な知識を身につけ、また現代における先端技術・表現の国際的な動向や傾向を知ること、今後多様化していくメディア表現に関する自分の考えを説明することができる。	
授業計画	1	【内容】 ガイダンス及び導入: 授業内容の説明
		【授業外学習】 授業最後の課題について、自身の考えをまとめること。
	2	【内容】 美術におけるメディア: 西洋美術史
		【授業外学習】 初期西洋美術の具体例について内容を振り返りまとめること。
	3	【内容】 美術におけるメディア: ルネサンス以降の西洋美術2
		【授業外学習】 ルネサンス以降の西洋美術の具体例について内容を振り返りまとめること。
	4	【内容】 美術におけるメディア: 近代の美術
		【授業外学習】 近代以降の美術の具体例について内容を振り返りまとめること。
	5	【内容】 写真と映像の歴史: ビデオアート
		【授業外学習】 ビデオアートの技法、特質について振り返り、理解すること。
	6	【内容】 デジタルメディア(1) コンピュータグラフィクス
		【授業外学習】 初期のコンピュータアートやその後の技術進歩について理解し、まとめること。
	7	【内容】 デジタルメディア(2) ゲームメディア
		【授業外学習】 コンピュータゲームの成り立ちやその後の技術進歩について理解し、まとめること。
	8	【内容】 ワークショップ: グループワーク
		【授業外学習】 グループワークでの気づきについて、考えをまとめておく。

	9	【内容】	デジタルメディア(4) サウンドメディア、サウンドアート			
		【授業外学習】	音を使ったサウンドデザインやサウンドアートについて振り返りまとめること。			
	10	【内容】	デジタルメディア(5) WEBメディア、ネットアート、NFTアート			
		【授業外学習】	インターネットの成り立ちを理解し、その後派生したWEBメディアについて振り返りまとめること。			
	11	【内容】	デジタルメディア(6) 空間や光、現象を使ったメディアインスタレーション			
		【授業外学習】	公共空間におけるメディア表現について振り返りまとめること。			
	12	【内容】	デジタルメディア(7) インターフェースとインタラクティブ・アート			
		【授業外学習】	多様化するデジタルインターフェースとその表現技法について振り返りまとめること。			
	13	【内容】	デジタルファブリケーションとハードウェアプロトタイピング			
		【授業外学習】	オープンソースなどの考え方やデジタル造形機器を用いた取り組みについて振り返りまとめること。			
	14	【内容】	メディアアート史 80年代～90年代、00年代以降のメディア表現			
		【授業外学習】	コンピュータがアートとして利用され始めた80年代から現在に到るまでの歴史を理解し振り返りまとめること。			
15	【内容】	まとめ、今後のメディア表現				
	【授業外学習】	授業内容に沿って、レポートに向けて総括をすること。				
授業方法	スライドによる事例紹介などの講義形式。 各回テーマを設定したレポート課題を設け、内容を理解し自身の考えが述べるができているのか、コメントにてフィードバックを行う。					
成績の 評価方法	以下の試験及び課題における目標達成度と取り組み姿勢に基づいて評価する。 1 期末レポートの成績 60% 2 平常点(各回のレポート等) 40%					
成績の 評価基準	期末レポート、また各回のレポート課題により、授業内容の理解度、またメディア表現に対する読解力を採点する。					
教科書						
参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『日本メディアアート史』	馬定延	アルテスパブリッシング	2800	978-4-86559-116-3